

◆第6回 説明文の分析的読解（6）／語句6（重箱・湯桶読み）

文章題では説明文を学習します。この回では、特に正誤問題についてのアプローチを学習します。また、題名を選ぶ問題の解法を学習します。

語句は重箱・湯桶読みの学習をします。特に音読み・訓読みで間違いやすい言葉を中心に問題が組み立ててあります。

◆第7回 説明文の分析的読解（7）／語句7（三字・四字熟語1）

文章題では説明文を学習します。この回では、二つのことがらを対比して説明する文章を読んで、対比の働きを学習します。

語句は三字・四字熟語の学習をします。いろいろな三字・四字熟語を覚え、パズル的な問題もあつかいます。

◆第8回 物語文の分析的読解（1）／語句8（三字・四字熟語2）

文章題では物語文を学習します。この回では、特に場面に注意して、どんなできごとがあったのかを正確に読み取る学習をします。

語句は前回同様、三字・四字熟語の学習をします。打ち消しの漢字を含む三字熟語や、漢数字の含まれた四字熟語など、テーマをしぼって学習します。

◆第9回 物語文の分析的読解（2）／語句9（慣用句1）

文章題では物語文を学習します。この回では、特に理由の記述について学習します。文章中の言葉だけでなく、自分の言葉を補って書く手法をマスターします。

語句は慣用句の学習をします。特に体の一部を使った慣用句を、意味を確かめながら覚えていきます。

10月は「場合の数」、「比例」、「速さ」について学習します。どれも大切なテーマですが、特に「場合の数」は、入試頻出分野ですので今のうちに基本的な考え方を身につけることが重要です。どちらも本格的な勉強は5年生からですが、今回の学習で曖昧な部分を残さないように取り組んでほしいと思います。

#### 動画視聴時のお願い

まずは自分の力で問題を解いてから動画を見ることをおすすめします。ただし、その単元の内容に関する予備知識が全くない場合は、動画から先に確認していただいて結構です。その場合、動画視聴後にもう一度解き直すとより定着が良くなります。また、先に問題を解いて間違えた場合も、動画を確認した後で解き直しをしてください。お子様が「解く→直す」の学習姿勢を4年生のうちに身につけることも大切です。

#### ◆第6回 場合の数II

前回に引き続き「場合の数」について学習します。今回も計算だけで処理をしようとせず、“手を動かして答えを出す”ことを意識して問題に取り組んでほしいと思います。“教え漏れが無いように調べ上げる”ことができるようになりましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、5、6

○宿題・・・第6回補充問題

#### ◆第7回 規則性V

「比例」について学習します。「片方の数が2倍、3倍…になると、もう一方の数も2倍、3倍…になるものを」を比例と言いますが、このように2つの数の関係について考えること自体が初めてという人も多いと思います。特に1や2の問題は、初めは戸惑うかもしれませんが、繰り返し考えると理解できるようになりますので、日をおいて繰り返し取り組んでもらいたいと思います。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、4、5、7

○宿題・・・第7回補充問題

#### ◆第8回 規則性VI

今回は「比例」を中心としたグラフについて学習します。「グラフ」については、まずたて軸とよこ軸を使った表し方に慣れてください。今回は、巻末の補充問題第8回にもグラフに慣れるための問題がたくさん載っていますので、動画を視聴した後で是非取り組んでください。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、5

○宿題・・・第8回補充問題

## ◆第9回 速さ I

今回は速さについて学習します。5年生になると「速さ・時間・道のりについての公式」で処理をしますが、4年生のうちは公式ばかりに頼るのではなく、比例の考え方を使いながら解き進めていきます。こうすることで速さの単位の意味をきちんと理解できますので、4年生のうちは公式に頼りすぎないようにしましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、3、4、5

○宿題・・・第9回補充問題

## ◆後期第4回 立体図形(2)

### ① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

#### 【例題1】 柱体の体積・表面積

同じ大きさ・形のカードを何枚も積みかさねてできた立体のことを全般的に「柱体」とよび、カードの形によって「三角柱」「四角柱」「円柱」などのように名前が変わります。第3回で、直方体の体積および立方体の体積を学習しましたが、「直方体の体積＝たて×横×高さ」の公式の「たて×横」の部分は、いわゆる底面の面積（底面積）にあたります。ですので、柱体の体積は、底面の形にかかわらず、「柱体の体積＝底面積×高さ」で表せます。

また、立体の表面すべての面積の合計を表面積といいます。ここでいう表面とは、立体をペンキの中に沈ませてから引き揚げたとき、ペンキが付着するすべての部分のことをいいます。なので、外側だけではなく、内側の部分で表面積となりうる部分があることに注意しましょう。基本的には、その立体の展開図をかいたときの展開図の面積が表面積であるにとらえてください。はじめのうちは、展開図をかいて考えるようにしましょう。特に、円柱の体積・表面積を考えるときは、「×3.14」の計算が複数回登場するときは、まとめ計算しやすいように「× $\pi$ (パイ)」として記し、できるだけ複雑な計算を避けられるようにしていきましょう。

#### 【例題2】 すい体の体積・表面積

同じ形のカードを大きい順に何枚も積みかさねてできた立体のことを全般的に「すい体」とよび、積み重ねるカードの形によって「三角すい」「四角すい」「円すい」などのように名前が変わります。今回、すい体のうち、「円すい」の体積・表面積について考えます。

「すい体の体積＝底面積×高さ× $\frac{1}{3}$ 」をはじめとする、円すいの体積・表面積に関する重要公式の説明を動画でおこなっているので、しっかり理解しましょう。

#### 【例題3】 断頭円柱の体積

円柱をななめに切ったような形を「断頭円柱」とよびます。この体積は同じ立体を2つ上下逆さまにしてくっつけると円柱になることから求めることができます。

#### 【例題4】 回転体の体積

細長い棒に、さまざまな平面図形をくっつけ、その棒を竹とんぼのようにクルクルと高速回転させたときに見える残像の立体の体積や表面積を考えます。まず、回転させるとどのような形になるのか、しっかり図示できるようにしていきましょう。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

## ② 【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。また、以降の図形の問題では、自分で書いた図に書きこむ機会が多くなりますので、すばやく図が書けるように練習しておきましょう。

③は、軸ごと回転させたときにできる立体がどのような形になるのか、きちんと図示できるようにしましょう。

④(3)は、直方体2つを組み合わせた形ですが、これを「六角柱」とみなすと、表面積の式の組み立てが楽になります。

## ③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。

## ◆第5回 文章題(4)

### ① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

#### 【例題 1】 つるかめ算の基本

つるかめ算の基本(2種類のつるかめ算)です。表の解き方も大事ですが、いずれはパターン化して処理できるように練習しましょう。

#### 【例題 2】 つるかめ算の応用

【例題 1】と同様に表をかいて「代金の差」を考えると、「代金の差が切手1枚ずつの代金の合計」ずつ変化していくことに気づくでしょう。普通のつるかめ算の代金の変化とどのようにちがうのか、確認しておきましょう。

#### 【例題 3】 弁償のつるかめ算

【例題 3】のような問題を「弁償のつるかめ算」とよんでいます、実は内容的には【例題 2】と同じ内容になります(条件を式に整理してみればよくわかります)。

#### 【例題 4】 3種類のつるかめ算

求める個数が3種類以上ある問題です。これも基本的に表をかいて、代金の変化に注目して解きますが、2種類のつるかめ算と比べて、個数についての条件がもう1つ追加されることに注意しましょう(今回の場合は、100円玉と50円玉が同じ枚数であるという

ことです)。

また表をかいて考える以外に、平均のねだんを使って考える方法があります。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

②【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

④ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。